

四半期報告書

(第3期第3四半期)

OCHIホールディングス株式会社

第3期第3四半期（自平成24年10月1日 至平成24年12月31日）

四 半 期 報 告 書

- 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	6
第4 【経理の状況】	7
1 【四半期連結財務諸表】	8
2 【その他】	15
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	16
四半期レビュー報告書	17
確認書	18

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 平成25年2月7日

【四半期会計期間】 第3期第3四半期(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

【会社名】 OCHIホールディングス株式会社

【英訳名】 OCHI HOLDINGS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 越 智 通 広

【本店の所在の場所】 福岡市中央区那の津三丁目12番20号

【電話番号】 (092)732-8959(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 中 村 尚 生

【最寄りの連絡場所】 福岡市中央区那の津三丁目12番20号

【電話番号】 (092)711-9173(直通)

【事務連絡者氏名】 取締役財務部長 中 村 尚 生

【縦覧に供する場所】 証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡市中央区天神二丁目14番2号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第2期 第3四半期 連結累計期間	第3期 第3四半期 連結累計期間	第2期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	58,937,424	59,328,079	78,084,430
経常利益 (千円)	1,266,202	1,426,871	1,652,506
四半期(当期)純利益 (千円)	914,480	1,028,828	1,143,891
四半期包括利益または包括利益 (千円)	865,837	1,035,575	1,151,158
純資産額 (千円)	6,443,270	7,682,144	6,718,797
総資産額 (千円)	40,471,679	40,589,112	37,670,992
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	102.51	115.57	128.27
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	15.80	18.85	17.71

回次	第2期 第3四半期 連結会計期間	第3期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	42.39	50.24

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 平成24年7月1日付で普通株式1株につき普通株式1.5株の割合で株式分割を行ないましたが、第2期連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務問題や新興国の経済成長の鈍化など、景気を下押しするリスクは依然として残っているものの、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかながらも回復傾向にありました。また、政権交代によるデフレ脱却政策への期待感から円安・株高が進み、明るい兆しも見え始めております。

当住宅関連業界におきましては、住宅エコポイントや住宅ローンの金利優遇策等の政策効果が下支えし、当第3四半期連結累計期間における新設住宅着工戸数は、前年同期比6.5%増と堅調に推移しました。

このような状況の中で当社グループは、ゼロエネルギー住宅への関心が高まる中、太陽光発電システムをはじめとする創エネルギー商材やLED照明器具、断熱材などの省エネルギー商材の販売拡充に努めてまいりました。また、グループ内の統合・再編を推進する中で、グループ経営管理の効率化にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は59,328,079千円(前年同期比0.7%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は1,129,726千円(前年同期比15.3%増)、経常利益は1,426,871千円(前年同期比12.7%増)、四半期純利益は1,028,828千円(前年同期比12.5%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

<建材・住設事業>

新設住宅着工戸数の堅調な推移を背景として、業績は順調に伸びました。また、創エネルギー商材、省エネルギー商材の販売拡充に努める一方で、グループ内の統合・再編による経営の効率化を図り、利益確保に努めてまいりました。その結果、当事業の売上高は46,763,720千円(前年同期比0.8%増)、営業利益は876,409千円(前年同期比23.1%増)となりました。

<生活用品事業>

北海道における大雪や停電による影響もあり、主力商品である暖房機器の販売が好調に推移したことに加え、除雪用品なども大きく伸びました。しかしながら、東北地区においては、前年同期と比較して石油ストーブや家庭用品の販売が伸び悩みました。その結果、当事業の売上高は5,734,893千円(前年同期比1.4%減)、営業利益は94,690千円(前年同期比8.4%減)となりました。

<プレカット事業>

職人不足による影響で住宅着工に遅れが生じているものの、新設住宅着工戸数の堅調な推移を背景として、プレカット事業の受注は順調に伸びました。また、原材料費の削減により利益率が向上し、経費の削減にも注力してまいりました。その結果、当事業の売上高は7,041,259千円(前年同期比2.2%増)、営業利益は390,138千円(前年同期比24.0%増)となりました。

(2) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比べ2,918,120千円(7.7%)増加し、40,589,112千円となりました。売上高の増加に伴い「受取手形及び売掛金」が1,625,232千円増加したこと、また、「現金及び預金」が712,452千円、「商品」が381,507千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

負債合計は前連結会計年度末と比べ1,954,773千円(6.3%)増加し、32,906,968千円となりました。有利子負債の圧縮に注力した結果、「短期借入金」が333,944千円、「長期借入金」が458,465千円それぞれ減少しましたが、仕入高の増加に伴い「支払手形及び買掛金」が2,840,020千円増加したことが主な要因であります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ963,347千円(14.3%)増加し、7,682,144千円となりました。四半期純利益が1,028,828千円、利益剰余金の配当が53,414千円であったことにより、「利益剰余金」が975,414千円増加したことが主な要因であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	13,500,000
計	13,500,000

② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月7日)	上場金融商品取引所名または 登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	9,073,980	同左	福岡証券取引所	単元株式数は100株 であります。
計	9,073,980	同左	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年12月31日	—	9,073,980	—	400,000	—	—

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 171,700	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,886,300	88,863	—
単元未満株式	普通株式 15,980	—	—
発行済株式総数	9,073,980	—	—
総株主の議決権	—	88,863	—

② 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 または名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) OCHIホールディングス 株式会社	福岡市中央区那の津 3丁目12-20	171,700	—	171,700	1.89
計	—	171,700	—	171,700	1.89

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 財務部長	取締役 財務部長 兼 内部統制部長	中村尚生	平成24年9月1日

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,555,981	4,268,434
受取手形及び売掛金	※3 19,100,898	※3 20,726,131
商品	2,241,763	2,623,271
未成工事支出金	407,886	538,824
その他	482,358	493,149
貸倒引当金	△188,059	△137,769
流動資産合計	25,600,828	28,512,041
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,876,905	5,876,905
その他（純額）	2,365,487	2,304,446
有形固定資産合計	8,242,393	8,181,351
無形固定資産		
無形固定資産	116,406	149,217
投資その他の資産		
その他（純額）	3,814,354	3,825,980
貸倒引当金	△102,991	△79,478
投資その他の資産合計	3,711,363	3,746,502
固定資産合計	12,070,163	12,077,071
資産合計	37,670,992	40,589,112

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 20,929,693	※3 23,769,713
短期借入金	3,528,530	3,194,586
未払法人税等	92,492	267,426
賞与引当金	332,190	168,033
厚生年金基金脱退損失引当金	22,347	—
その他	1,042,692	1,126,152
流動負債合計	25,947,945	28,525,912
固定負債		
長期借入金	3,202,547	2,744,082
退職給付引当金	355,633	337,507
役員退職慰労引当金	172,520	185,947
負ののれん	※2 399,433	※2 180,331
その他	874,115	933,187
固定負債合計	5,004,249	4,381,055
負債合計	30,952,194	32,906,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	400,000	400,000
資本剰余金	913,307	913,307
利益剰余金	5,330,415	6,305,830
自己株式	△76,405	△76,475
株主資本合計	6,567,317	7,542,662
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102,799	106,917
その他の包括利益累計額合計	102,799	106,917
少数株主持分	48,680	32,565
純資産合計	6,718,797	7,682,144
負債純資産合計	37,670,992	40,589,112

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	58,937,424	59,328,079
売上原価	52,144,377	52,539,303
売上総利益	6,793,047	6,788,775
販売費及び一般管理費	5,812,988	5,659,049
営業利益	980,059	1,129,726
営業外収益		
受取利息	12,968	9,615
受取配当金	19,165	20,719
仕入割引	111,867	110,263
不動産賃貸料	67,327	71,540
協賛金収入	7,649	4,789
負ののれん償却額	226,980	226,980
その他	72,530	71,160
営業外収益合計	518,490	515,068
営業外費用		
支払利息	63,741	50,587
売上割引	109,785	125,281
不動産賃貸費用	38,919	34,081
その他	19,899	7,971
営業外費用合計	232,346	217,922
経常利益	1,266,202	1,426,871
特別利益		
固定資産売却益	620	2,595
投資有価証券売却益	42	357
負ののれん発生益	31,965	12,444
補助金収入	—	51,000
特別利益合計	32,629	66,397
特別損失		
固定資産売却損	131	55
固定資産除却損	2,341	85
投資有価証券売却損	—	272
投資有価証券評価損	—	9,303
ゴルフ会員権評価損	—	950
減損損失	223	—
特別損失合計	2,696	10,666
税金等調整前四半期純利益	1,296,135	1,482,603
法人税、住民税及び事業税	150,178	361,093
法人税等調整額	223,006	90,085
法人税等合計	373,185	451,179
少数株主損益調整前四半期純利益	922,950	1,031,423
少数株主利益	8,470	2,595
四半期純利益	914,480	1,028,828

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	922,950	1,031,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57,112	4,151
その他の包括利益合計	△57,112	4,151
四半期包括利益	865,837	1,035,575
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	857,524	1,032,946
少数株主に係る四半期包括利益	8,313	2,629

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	1,583千円	275千円

※2 のれん及び負ののれんの表示

のれん及び負ののれんは、相殺表示しております。相殺前の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負ののれん	416,128千円	189,147千円
のれん	16,695千円	8,816千円
差引	399,433千円	180,331千円

※3 四半期連結会計期間末日満期手形

当第3四半期連結会計期間末日は金融機関の休日ではありますが、満期日に決済が行なわれたものとして処理しております。四半期連結会計期間末残高から除かれている四半期連結会計期間末日満期手形は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	1,016,258千円	875,596千円
支払手形	1,369,266千円	864,922千円

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	322,884千円	294,957千円
のれんの償却額	20,206千円	7,879千円
負ののれんの償却額	226,980千円	226,980千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月23日 取締役会	普通株式	49,607	10	平成23年3月31日	平成23年6月15日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月21日 取締役会	普通株式	53,414	9	平成24年3月31日	平成24年6月13日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	建材・住設 事業	生活用品 事業	プレカット 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,251,265	5,814,985	6,871,174	58,937,424	—	58,937,424
セグメント間の内部 売上高または振替高	160,692	35	20,953	181,681	△181,681	—
計	46,411,958	5,815,021	6,892,127	59,119,106	△181,681	58,937,424
セグメント利益	711,986	103,325	314,665	1,129,978	△149,919	980,059

(注) 1 セグメント利益の調整額△149,919千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△168,540千円、その他の調整額18,620千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	建材・住設 事業	生活用品 事業	プレカット 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,600,209	5,734,025	6,993,845	59,328,079	—	59,328,079
セグメント間の内部 売上高または振替高	163,511	867	47,414	211,794	△211,794	—
計	46,763,720	5,734,893	7,041,259	59,539,873	△211,794	59,328,079
セグメント利益	876,409	94,690	390,138	1,361,238	△231,511	1,129,726

(注) 1 セグメント利益の調整額△231,511千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△233,620千円、その他の調整額2,108千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

越智産業(株)(連結子会社)は、平成24年11月12日に(株)ホームコア(連結子会社)の株式を追加取得し完全子会社といたしました。これに伴い「建材・住設事業」セグメントにおいて12,444千円の負ののれん発生益を計上しております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	102円51銭	115円57銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	914,480	1,028,828
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	914,480	1,028,828
普通株式の期中平均株式数(株)	8,920,621	8,902,279

(注) 1 平成24年7月1日付で普通株式1株につき普通株式1.5株の割合で株式分割を行ないましたが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月6日

OCHIホールディングス株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 柴 田 祐 二 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 宮 本 義 三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているOCHIホールディングス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、OCHIホールディングス株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成25年2月7日
【会社名】	OCHI ホールディングス株式会社
【英訳名】	OCHI HOLDINGS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 越 智 通 広
【最高財務責任者の役職氏名】	取締役財務部長 中 村 尚 生
【本店の所在の場所】	福岡市中央区那の津三丁目12番20号
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長越智通広及び当社最高財務責任者中村尚生は、当社の第3期第3四半期(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。